科目ナンバー	SEM-3-004	科目名	課題	課題演習 (小林)							
教員名	小林 恵美			開講年度学期	202	2020年度後期 単位数			2		
	本演習では、言語と教育の密接な関係を念頭に入れ、第二言語習得と外国語教育の接点を探求していきます。様々な研究や理論について読み、自分達の外国語学習経験について内省し、議論していくことで、第二言語習得及び外国語教育に関する理解を深めていきます。 第二言語習得論で学ぶ様な研究や理論を基に、どのような英語学習や英語指導が、学習者の英語運用能										
	カを育てるのに必要なのかについて、読み、内省し、議論していくことで、第二言語習得と語学教育に関 する理解を深めます。										
「共愛12のカ」との)対応						_				
識見		自律する力		コミュニケーションカ		<u> </u>	問題に対応する力				
共生のための知識		自己を理解する	カ	伝え合う力		0	分析し、思考するカ (0		
共生のための態度		自己を抑制する	カ	協働する力		0	構想し、	実行する力			
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築す	するカ O		実践的スキル				
教授法及び課題の フィードバック方 法		て、発表、議論、	講義、グルーフ	プワーク等							
アクティブラーニン	グ() サービ	スラーニング			課題解決	型学修				
受講条件 前提科目	「課題演習」」の単位を取得済みの者。 「第二言語習得論 & 」を3年次に履修する者。 「言語学 & 」、「英語学 & 」、「第二言語教育論 & 」等関連科目をあらかじめ又は同時に履修することが望ましい。										
アセスメントポリ シー及び評価方法	Proposal 20%(詳細は授業で説明) 評価は、上記の項目を総合して行う。										
教材	馬場今日子·新多了『はじめての第二言語習得論講義:英語学習への複眼的アプローチ』 白井泰弘(2008).『外国語学習の科学:第二言語習得論とは何か』.東京:岩波書店 この他参考資料は随時配布。										
参考図書	大関浩美(2010).『日本語を教えるための第二言語習得論入門』.東京:くろしお出版 上村妙子・大井恭子(2004).『英語論文・レポートの書き方』.研究社小柳かおる(2004).『日本語教師の ための新しい言語習得概論』.スリーエーネットワーク 白井恭弘(2004).『外国語学習に成功する人、しない人』.岩波書店 村野井仁(2006).『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』.大修館書店 米山朝二(2003).『英語教育指導法事典』.研究社										
内容・スケジュー ル	前期同様授業は主に、『はじめての第二言語習得論講義:英語学習への複眼的アプローチ』の指定された箇所について、担当者がまとめの発表をし、参加者の理解を促すディスカッションを導く形式で行います。タスク中心アプローチ、外国語適正、動機づけ、といった内容について学ぶ予定です。この他第二言語習得研究に関する論文を各自の興味に応じて選択し、理解した内容に関する発表も実施していきます。また、各自読んだ第二言語習得に関連する論文について発表して頂く事もあります。「授業外学修」毎週予習・復習(以下参照)が必要:所要時間平均約2時間〇教科書指定箇所を読み、内容について理解したことや疑問をまとめる〇発表担当箇所の発表準備と資料作成〇授業での学びを振り返り、内省文を作成不定期な準備〇9月に開催された合同ゼミ合宿の学びを振り返る(2時間)〇シャロン祭展示に向けて論文の内容確認、データ収集、分析、ポスター作成など準備(約6時間)〇卒業研究論文のテーマ探しの目的で、各自興味のある論文を5本以上見つけ、要約を読み、授業で説明できるよう準備(1.5時間書ける5回=7.5時間)〇卒業研究プロポーザル作成(5時間)										

Number		Subject	Junior Specialty S						
Name	小林 恵美(Kobayashi Emi)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	2				
Course O utline	This seminar deals with various areas of applied linguisticswith a special focus on second language (L2) learning and teachingin order to provide students with an understanding of the way in which L2 learning takes place in various contexts. You will read about various research and theories and reflect on your foreign language learning to deepen your understanding of L2 education.								